4. まとめ

当 WG ではスーパーコンピュータ「京」や FX10、最新鋭の FX100 などマルチコアクラスタを対象として会員のアプリケーションプログラムの性能評価および高速化チューニングを会員が主体的に実施し、その成果やノウハウを共有した。コア数、SIMD 幅、ノード数などの増加、ノード内 NuMA など考慮すべき項目が多々ある現状では、依然として高速化チューニングは困難な状況と思われる。一方で前身の WG の頃に比べて、プロファイラ―、詳細 PA ツールなど性能評価・分析ツールが次第に整備され、ユーザーがこれらのツールを駆使して性能評価、分析が行えるようになりつつある点は今後に向けて明るい材料とも言える。

現在開発が進められているエクサスケール計算機を含め、今後開発される計算機を活用するためには、ハードウェアおよびシステム開発者、コンパイラ開発者の支援の下ユーザーが主体的に性能評価・高速化チューニングを実施する当 WG の様な活動は貴重であり、今後も継続されることが期待される。

最後になるが、貴重な時間を割いて 2 年間の WG 活動に参加していただいた会員の皆さん、富士通の担当者、至らないまとめ役を全面的にバックアップして WG の円滑な運営に尽力していただいた SS 研事務局のみなさんに感謝いたします。

（ポストペタアプリ性能WG　まとめ役　高木亮治）

【発行者】サイエンティフィック・システム研究会
【編　集】サイエンティフィック・システム研究会　ポストペタアプリ性能WG
【発行日】2016 年 3 月 31 日

＜連絡先＞
サイエンティフィック・システム研究会 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
TEL : 03-6252-2582
E-mail : office@ssken.gr.jp
URL : http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/

※著作権は各原稿の著者または所属機関に帰属します。無断転載を禁じます。